

【報道関係者各位】
【マーケティング担当者様】

平成 21 年 11 月 25 日
株式会社 IMJ モバイル
東京都品川区西五反田 2-28-5
代表取締役社長 川合 純一

クラウドサービスに関する調査

～売上高 500 億円以上の企業の約 5 割がプライベートクラウド導入を検討～

株式会社アイ・エム・ジェイ（本社：東京都品川区 代表取締役社長：廣田 武仁）のグループ会社である株式会社 IMJ モバイル（本社：東京都品川区 代表取締役社長：川合 純一）は、「クラウドサービスに関する調査」を実施いたしました。

調査期間は 2009 年 11 月 6 日～11 月 9 日、有効回答数は 400 名から得られました。

【調査結果概要】

昨今注目を浴びている、安価、短納期で導入できるクラウドコンピューティングに対する意識や利用状況を把握するため、企業の情報システム担当者を対象に調査を実施いたしました。

調査結果から、クラウドコンピューティングの認知者は約 8 割、クラウドサービスの導入検討は約 3 割にのぼり、注目度の高さが窺えます。また、プライベートクラウド（ ）を構築するための重要なテクノロジーのひとつであるシステムの仮想化については、全体の 3 割以上が自社システムにおいて既に実装しており、そのうち範囲拡張を予定している企業も多いことから、仮想化を利用したプライベートクラウドが今後導入促進されると予測されます。

クラウドサービスの導入を検討している企業の障壁としては「データが外部に出ることが不安」「事例が少ない」との回答が多くあがり、また、導入を予定していない企業が検討するきっかけとなる情報としては「費用対効果モデル」「導入による成功事例」が多くあがりました。このことから、費用対効果や事例の提示、セキュリティレベルの保証がクラウドサービスの利用促進に繋がると考えられます。

IMJ モバイルでは以下のサービスを提供しております。

TCO 削減を目的としたサーバリプレースサービス Amazon EC2 導入サービス

<http://www.imjmobile.co.jp/service/infrastructure.html>

【調査結果のトピック】

クラウドコンピューティングの名称認知は約 8 割にのぼる
利用・検討はパブリッククラウドよりプライベートクラウドの方が多い
システム仮想化している企業は 3 割超。うち約 7 割が拡張予定
売上高 500 億円以上の企業の 5 割以上がプライベートクラウドを既に導入、または検討している
クラウドサービスへの期待はコストの削減
導入に至るまでの障壁は「データを外部に預けることの不安」「事例の少なさ」
検討のきっかけは「費用対効果モデル」「成功事例」

パブリッククラウド：インターネット経由の一般向けサービス

プライベートクラウド：業界内・企業内（ファイアウォール内）などのサービス

（本調査は企業単位の集計ではありません。）

【調査結果詳細】

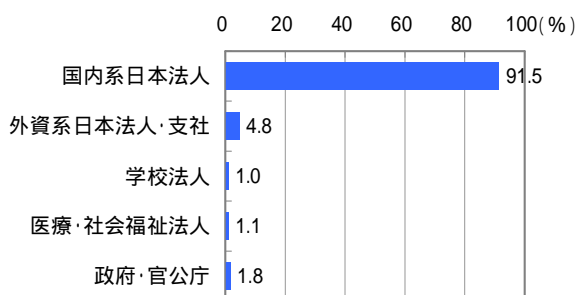
調査概要

- ・調査方法 : インターネットリサーチ
- ・調査地域 : 全国
- ・調査対象 : 24歳以上の男女 調査会社が保有する調査パネル
- ・有効回答数 : 400 サンプル
- ・調査日時 : 2009年11月6日～11月9日

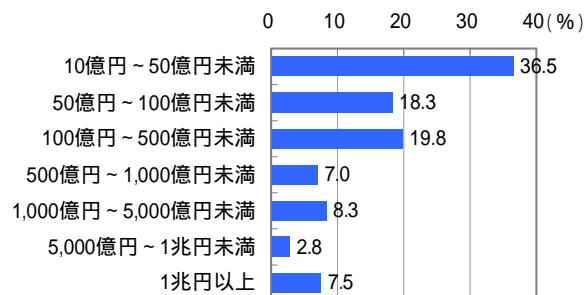
回答者プロフィール

- ・売上高10億円以上の企業に勤務し、以下の業務に関与している正社員
 - ・社内基幹システム導入
 - ・社内ネットワーク・インフラ
 - ・ハードウェア
 - ・パッケージソフトウェア
 - ・情報セキュリティ

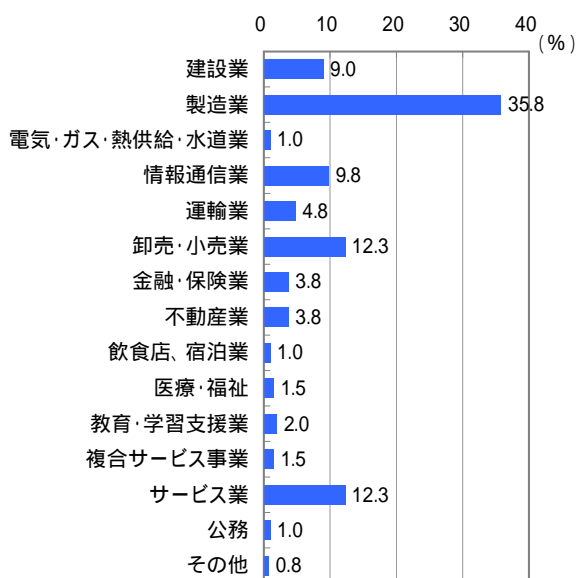
勤務先企業 (n=400)



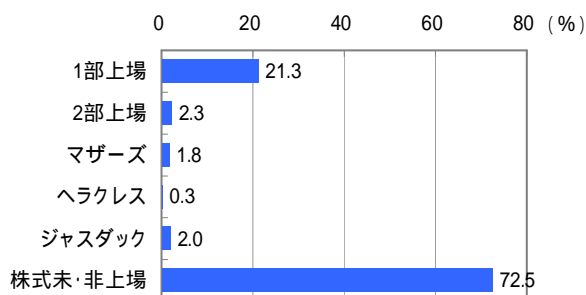
勤務先の売上規模 (n=400)



勤務先の業種 (n=400)



勤務先の会社形態 (n=400)



(本調査は企業単位の集計ではありません。)

クラウドコンピューティングの名称認知は約 8 割にのぼる 利用・検討はパブリッククラウドよりプライベートクラウドの方が多い

クラウドコンピューティングについてどの程度知っているか尋ねたところ、「詳細まで知っている」(13%)、「概要程度は知っている」(39%)となり、ある程度理解している人の割合が半数を超える結果となりました。名称認知を合わせると 78%となり、認知度は高いことがわかりました。

また、クラウドサービスの説明を提示した上で、利用状況を尋ねたところ、「現在利用している」との回答はパブリッククラウドでは 4%、プライベートクラウドでは 7%、「導入を検討している」との回答はそれぞれ 26%、30%となり、導入実績、導入検討共にプライベートクラウドの方が多いことがわかりました。

図1 クラウドコンピューティング認知状況(単一回答)

【n=400】

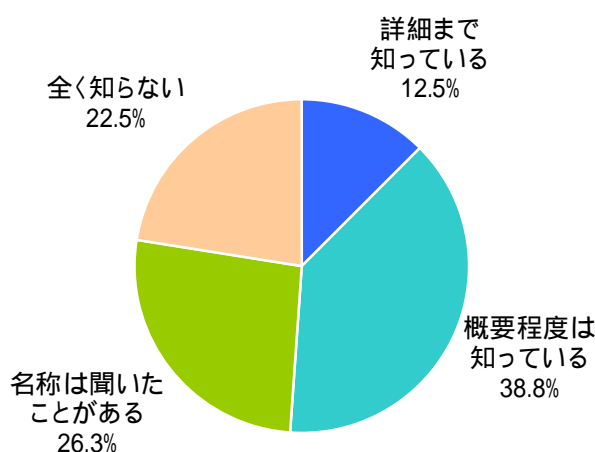
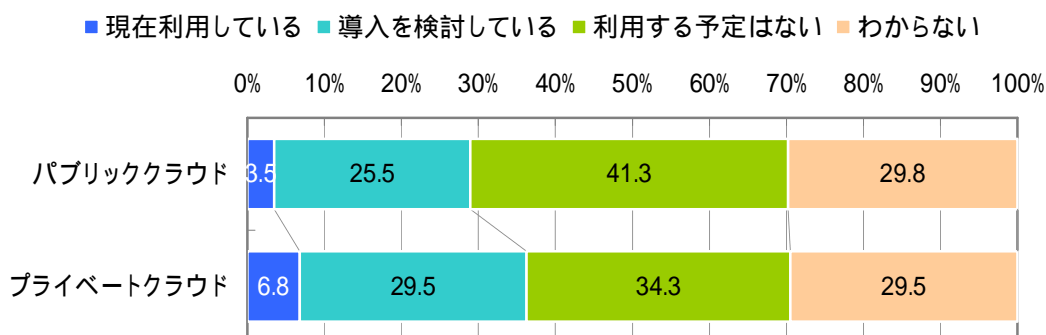


図2 クラウドサービス利用状況(単一回答)

【n=400】



(本調査は企業単位の集計ではありません。)

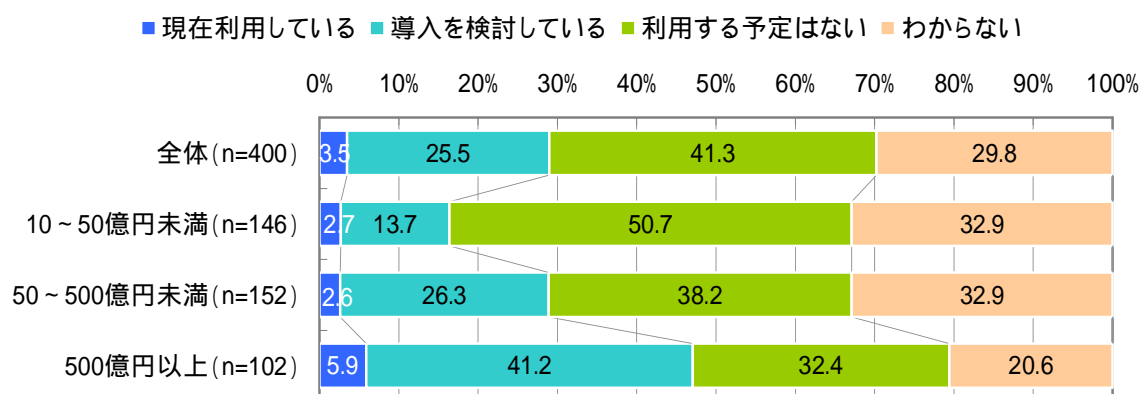
売上高 500 億円以上の企業の 5 割以上がプライベートクラウドを既に導入、または検討している

クラウドサービスの利用状況を売上規模別に見てみると、パブリッククラウド、プライベートクラウド共に、売上規模が大きくなるにつれ、導入検討している割合も高くなり、売上高 500 億円以上を見ると、パブリッククラウドは 41%、プライベートクラウドは 49%の企業が導入を検討していると回答しています。

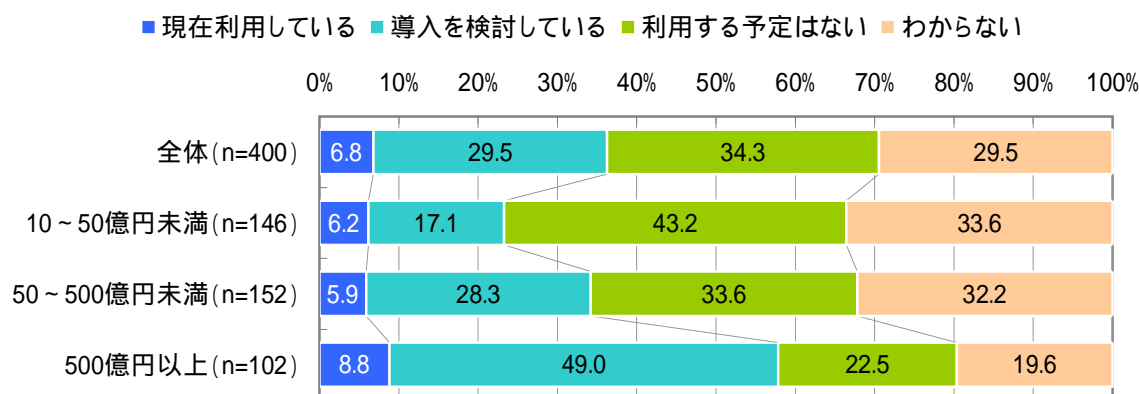
図3 売上規模別のクラウドサービス利用状況（単一回答）

【n=400】

パブリッククラウド



プライベートクラウド



(本調査は企業単位の集計ではありません。)

システム仮想化している企業は3割超。うち約7割が拡張予定

プライベートクラウドを構築するための重要なテクノロジーのひとつであるシステムの仮想化について尋ねたところ、全体の34%が自社サービスシステムを仮想化していることがわかりました。その仮想化をしている企業のうち、「システム全体」を仮想化している企業は37%と多く、また、一部を仮想化している企業も、時期未定を含めると7割以上の企業が仮想化範囲の拡張を予定している結果となりました。

IMJモバイルではTCO削減を目的としたサーバリプレースサービスを提供しております。詳細は以下をご参照下さい。
<http://www.imjmobile.co.jp/service/infrastructure.html#SERVICE01>

図4 自社サービスシステムの仮想化状況（単一回答）

【n=400】

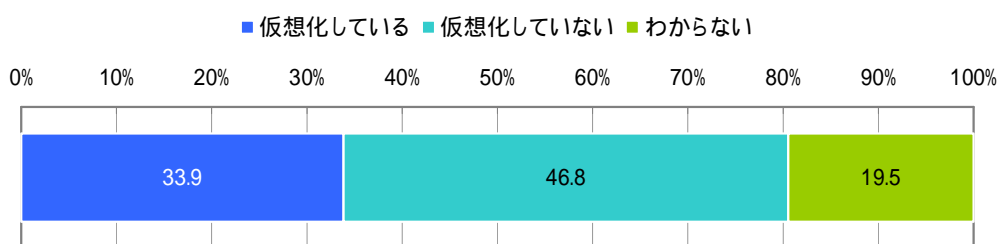


図5 自社サービスシステムの仮想化範囲（単一回答）

【n=135 仮想化実施企業】

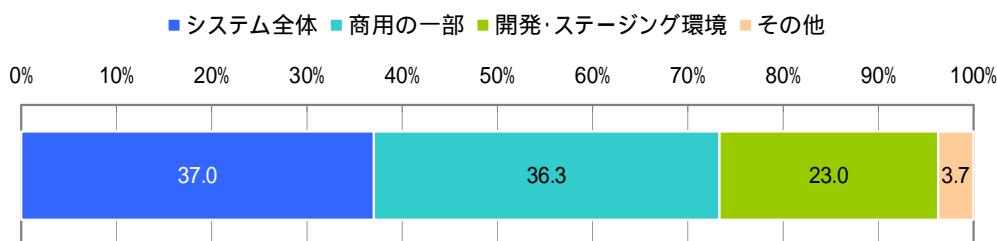
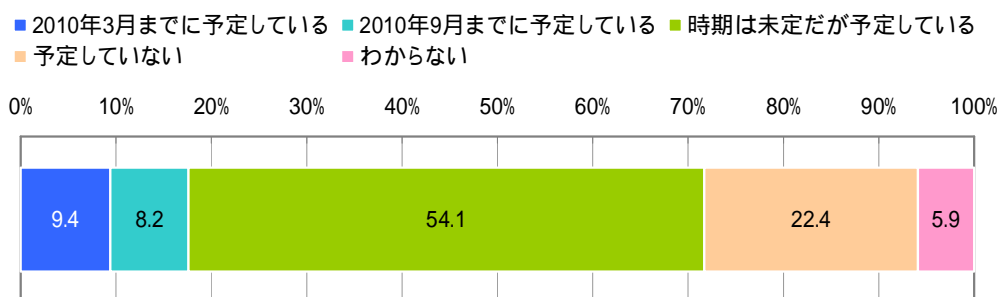


図6 自社サービスシステムの仮想化範囲拡張予定（単一回答）

【n=85 システム全体以外仮想化実施企業】



(本調査は企業単位の集計ではありません。)

最も利用・検討されているクラウドサービスは「SaaS」

クラウドサービスについて、利用者には利用分野を、導入検討者には導入検討分野を尋ねたところ、利用・導入検討ともに「SaaS」が最も多く、次いで「PaaS」「IaaS」の順となりました。「SaaS」は、行政での導入事例が世間に広まっており、このことが利用・検討の多い要因のひとつであると考えられます。

図7 利用しているクラウドサービス分野（複数回答）

【n=35 クラウドサービス利用企業】

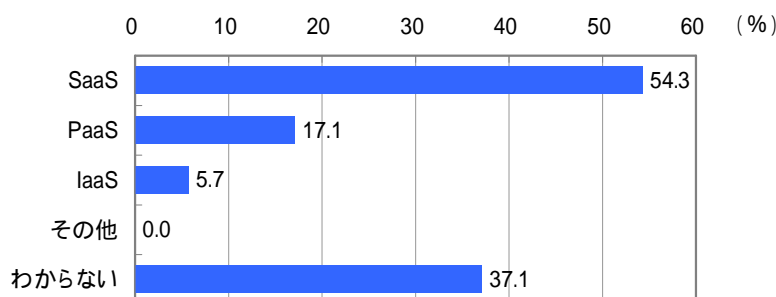
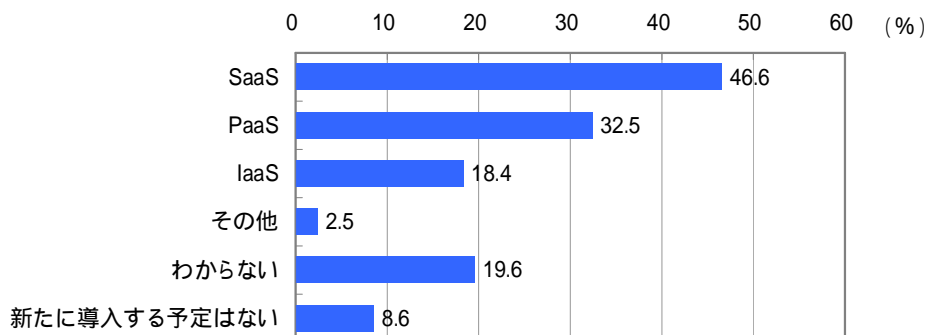


図8 導入を検討しているクラウドサービス分野（複数回答）

現在クラウドサービスを利用している方は、新たに導入する場合を回答

【n=163 クラウドサービス利用・検討企業】



「SaaS」「PaaS」「IaaS」について以下の説明を提示

SaaS (Software as a Service) :

インターネット経由のソフトウェアパッケージの提供。電子メール、グループウェア、CRMなど。セールスフォース・ドットコム(Salesforce CRM)など。

PaaS (Platform as a Service) :

インターネット経由のアプリケーション実行用のプラットフォームの提供。仮想化されたアプリケーションサーバやデータベースなど。ユーザーが自分のアプリケーションを配置して運用できる。セールスフォース・ドットコム(Force.com)プラットフォーム、GoogleのGoogle App Engineなど。

IaaS (Infrastructure as a Service) :

インターネット経由のハードウェアやインフラの提供。仮想化サーバや共有ディスクなど。ユーザーが自分でOSなどを含めてシステム導入・構築できる。Amazon.comのAmazon EC2、Amazon S3など。

(本調査は企業単位の集計ではありません。)

利用・検討している SaaS は「スケジュール」「メール」など

利用中もしくは導入を検討している SaaS の内容を尋ねたところ、Web サービス系（53%）に比べ基幹系（74%）が多いことがわかりました。基幹系 SaaS では「スケジュール」（64%）が最も多く、次いで「メール」（59%）、「メールセキュリティ」（42%）となり、Web サービス系では「メールセキュリティ」（57%）が最も多く、次いで「メルマガ配信」「画像変換」「アクセス解析」（30%）となりました。

図9 利用中もしくは導入検討中の SaaS（複数回答）

【n=87 SaaS 利用・検討企業】

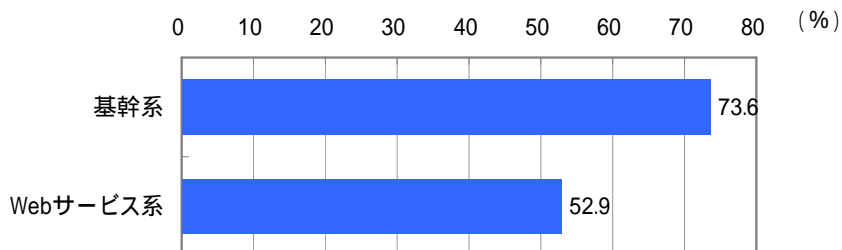
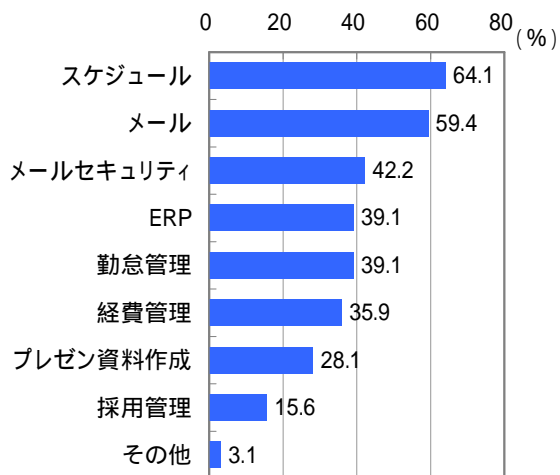


図10 利用中もしくは導入検討中の基幹系 SaaS（複数回答）

基幹系 SaaS

【n=64 基幹系 SaaS 利用・検討企業】



Web サービス系 SaaS

【n=46 Web サービス系 SaaS 利用・検討企業】



WAF : Web Application Firewall

(本調査は企業単位の集計ではありません。)

クラウドサービスへの期待はコストの削減

導入を検討しているクラウドサービスに期待することを尋ねたところ、「SaaS」「PaaS」「IaaS」の全てにおいて「導入コストが低い」「運用コストが低い」といったコスト面に期待をしている企業が多く見られました。Salesforce や Google Apps、Amazon EC2 など、安価で利用できることを強みとしているサービスが注目を浴びているためと推察できます。

また、クラウドサービス利用企業に不満点を尋ねたところ、インフラの性能やサービスレベルについての不満の声があげられました。クラウドサービスを利用するにあたり、パフォーマンスの要件レベルやサービスレベルを確認するのも重要であることが窺えます。

IMJ モバイルでは Amazon EC2 導入サービスを提供しております。詳細は以下をご参照下さい。
<http://www.imjmobile.co.jp/service/infrastructure.html#SERVICE04>

図 11 導入を検討しているクラウドサービスに期待すること（上位3つまで回答）

現在クラウドサービスを利用している方は、新たに導入する場合を回答

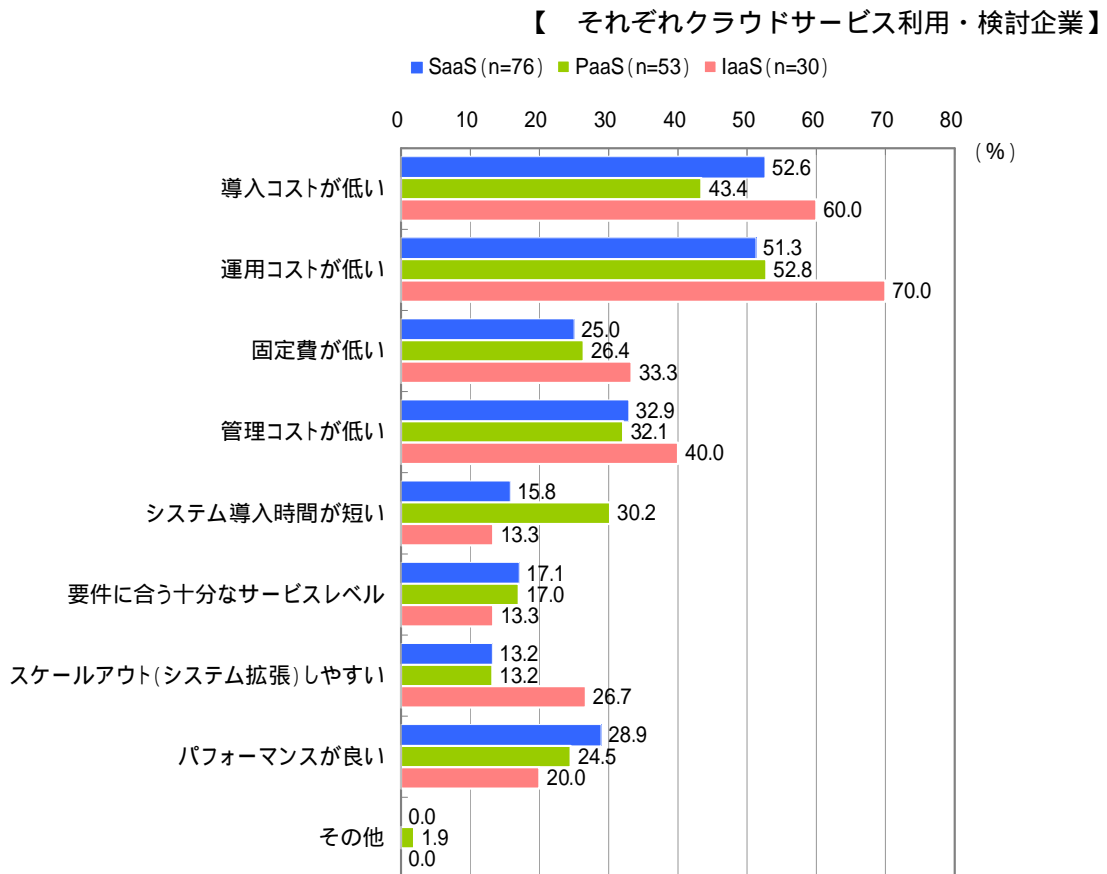


表 1 導入しているクラウドサービスの不満点 一部抜粋（自由回答）

不満点	業種	売上規模
一部のサーバーがダウンすると、いくつかの部署でデータのやり取りができない等の不具合が発生する	製造業	1,000～5,000億円未満
現在利用する立場で回線の遅さに不満があるし、システムの複雑さにも不満はあるが現時点では我慢して使わざるを得ない状態。	製造業	50～100億円未満
性能。ベストエフォートとならざるを得ない。あとはSLAが明確でない。	情報通信業	1,000～5,000億円未満
トラブル時の対応	製造業	1兆円以上
追加のカスタマイズ費用が大きく、即時に柔軟な対応が難しい	情報通信業	10～50億円未満
メンテナンスできる者が限定される	卸売・小売業	50～100億円未満
カスタマイズがもっと容易な方がいい	情報通信業	10～50億円未満

（本調査は企業単位の集計ではありません。）

**導入に至るまでの障壁は「データを外部に預けることの不安」「事例の少なさ」
導入検討のきっかけは「費用対効果モデル」「成功事例」**

クラウドサービス導入検討者に対し、導入を検討する上での障壁を尋ねたところ、「データが外部に出ることが不安」(43%)が最も多く、次いで「事例が少ない」(32%)、「信頼性を維持できない」(26%)となりました。

また、クラウドサービスの利用を予定していない企業に対し、どのようなものがあれば導入検討をするきっかけになるか尋ねたところ、「費用対効果モデル」(67%)が最も多く、次いで「成功事例」(48%)、「コンサルティング」(24%)となりました。

図 12 クラウドサービス導入検討における障壁（複数回答）

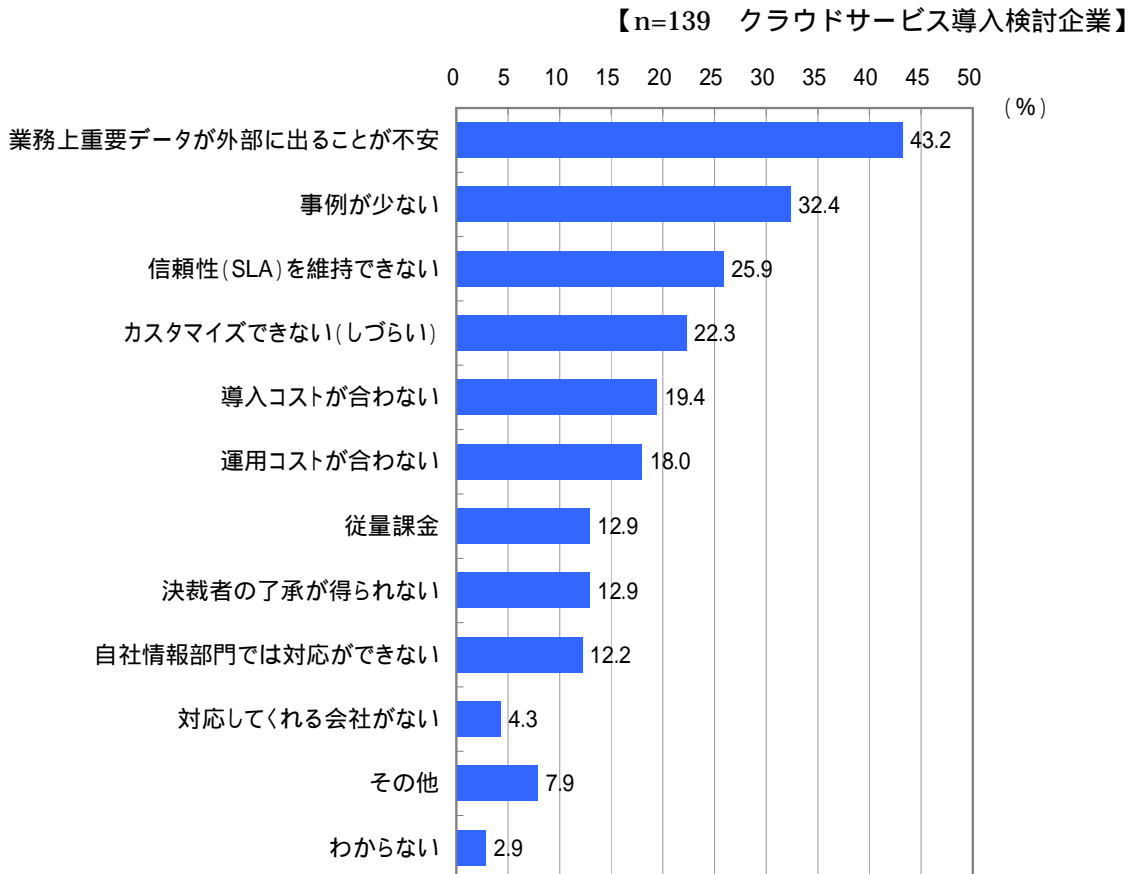
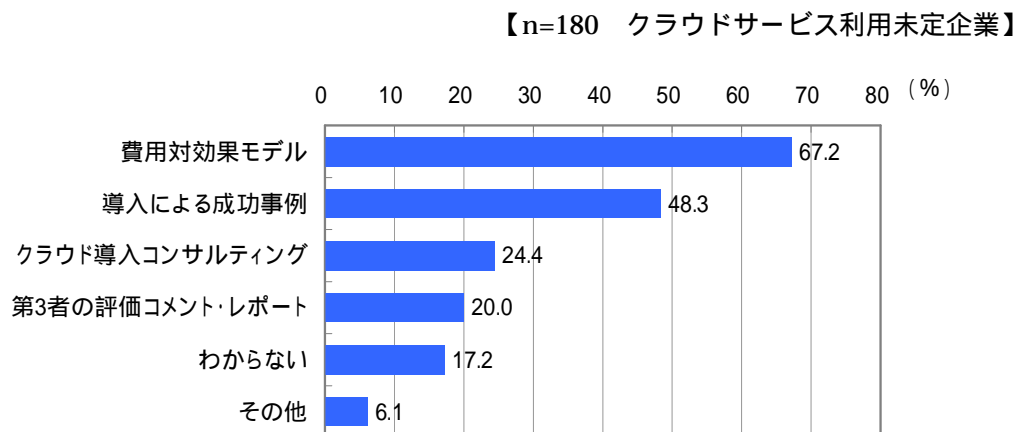


図 13 クラウドサービス導入検討のきっかけとなるもの（複数回答）



(本調査は企業単位の集計ではありません。)

【株式会社 IMJ モバイル 会社概要】

株式会社 IMJ モバイルは、携帯に関する調査・診断・企画・開発・制作・運用に関する豊富なノウハウにより、携帯の BtoB 及び、BtoC サイトを提供しており、国内最大級の実績とリソースを保有するモバイルインテグレーターです。

現在では、コマース事業、サイト調査・診断事業、QR コード、フェリカ、IC タグ関連の技術開発及びソリューションの提供を多くの企業様に提供しており、企業様を対象とした携帯サイトの公式化支援事業にも力を入れております。

社名	株式会社 IMJ モバイル
本社	東京都品川区西五反田 2-28-5 第 2 オークラビル
URL	http://www.imjmobile.co.jp/
設立	2000 年 7 月 18 日
資本金	3 億 963 万 7500 円 (2008 年 12 月現在)
従業者数	350 名、グループ従業者数 564 名(2008 年 12 月現在)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯公式サイト企画・運営事業 ・ 携帯メディア、広告事業 ・ 携帯サイト構築・運営代行業業 ・ 携帯ソリューション事業、等

< 本件に関するお問合せ先 >

株式会社 IMJ モバイル <http://www.imjmobile.co.jp/>

クラウドサービスに関するお問合せ先

SI 事業本部 担当：馬場、丸山
TEL：03-5759-0197

調査に関するお問合せ先

市場調査室 担当：嶋田
TEL：03-5759-0188

報道関係者のお問合せ先

広報 IR グループ 担当：森竹
TEL：03-5759-0177 E-mail：press@imjmobile.co.jp